

No.	開催日等	いただいたご意見等	当日の回答（要約）	意見の対応協議結果
1	R5.04.18 高原地域	<p>外国人に対しての区費の未納がある。強制的にお金を取れるのは税金だけである。外国人に限らず、今の場合では外国人がメインで妙高市の空き家、住宅、土地を買われているが責任を持って来ていただきたい。ある程度の決まりは、妙高市で作り上げてもいいのではないかと思う。</p> <p>あとごみの収集について、どのように、対応していいか私たちはわからない。市の条例か何かで規制できないかと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で、自治で、そこへ入ったときに、きちっと話を作り上げていくしかないのではないかなと思う。条例となると、大変な形になるかと思う。今日の意見を1回持ち寄って、話し合いはさせていただく。皆さんの方にまた結果を報告させていただく。 ・ニセコへ視察に行ったことがある。管理会社をつくれれば外国人とのコミュニケーションの問題は、ある程度解決されると思っている。私どももアイデアがないのが現状である。 	<p>委員会等で対応を協議 （所管：総務委員会）</p> <p>⇒総務委員会での対応協議結果を加えて行政側に伝える</p>
2	R5.04.18 高原地域	<p>区費、ごみ当番を説明する人がいないと外国は習慣がないから理解していない。</p> <p>行政がどの程度外国人に説明をし、指導しているのか。行政指導要綱という形で設ければ、ある程度受け付けの窓口の段階で指導するというのであれば、地区の町内会長が説明するより、強制力が出てくるような気がする。</p> <p>行政で、専門の係を設けて、指導する担当を設けることを提案する。</p> <p>外国人とコミュニケーションができる組織について、市へ要請したらどうか。補助金を出してでもNPOを作ってもらおうことかどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住むにあたって、この点に注意してくれというのは、実際に窓口でやっていると思うが、窓口ですべての人が来られるわけじゃないので、その辺がちょっと難しいところがあると思う。 ・ニセコのような外国人との仲介をする組織ができれば、ありがたい。今後はコミュニケーションができる組織が必要だと働きかけさせていただきたい。 	<p>委員会等で対応を協議 （所管：総務委員会）</p> <p>⇒総務委員会での対応協議結果を加えて行政側に伝える</p>
3	R5.04.18 高原地域	<p>英語版ごみカレンダーについて、非常に読みにくい。A3に、12か月分が載っている。その裏側に全部の説明が載っている。これを読めと言われても、私でも読めない。一度見てもらいたい。</p> <p>新しいごみ袋の差額券について、英語の説明が全然間違っていたので、窓口で直させていただいた。市なら、お金を出してでも翻訳のかたとか、いくらでもきちんとした英語は書けると思う。</p>	<p>ごみの分別に関しては英語版も出ていて窓口で案内していると思う。</p>	<p>委員会等で対応を協議 （所管：総務委員会）</p> <p>⇒総務委員会での対応協議結果を加えて行政側に伝える</p>
4	R5.04.18 高原地域	<p>市や観光協会と外国人のビジネスのコミュニケーションがまったくない。外国人は市が何をやっているか全然わからない。外国人は多分協力したい。一緒に動きたい。市の人たちを手伝いたいけど、コミュニケーションをする方法が全然ない。</p> <p>外国人は1年中ビジネスやっている人が結構多い。例えば市の観光向けのプランとか、市は何を考えているか、みんないつも聞いている。</p>	<p>回答なし</p>	<p>委員会等で対応を協議 （所管：総務委員会）</p> <p>⇒総務委員会での対応協議結果を加えて行政側に伝える</p>
5	R5.04.18 高原地域	<p>インバウンドの関係について、妙高高原駅はとっても使いにくい駅になっている。宿の者が手伝いに行って、ホームの中に入るとホームの中には入場券がないと入れないと怒鳴られてしまった。行政を通じてでも結構だが、旅館、ホテルのかたの努力で話をさせていただければと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・城戸市長になり、政策の中に妙高高原駅にエレベーターをつけることを一つの公約として掲げた。委員会にそれが出てき次第、皆さんにご報告をしていきたい。 ・駅舎のエレベーターについて、確定はしていないが構想としては3年、4年かかる見込みだが短くするように努力していきたい。 	<p>委員会等で対応を協議 （所管：総務委員会）</p> <p>⇒総務委員会での対応協議結果を加えて行政側に伝える</p>

No.	開催日等	いただいたご意見等	当日の回答（要約）	意見の対応協議結果
6	R5.04.18 高原地域	赤倉の県道39号線と池の平の方に向かっていく道について、春になると道路がガタガタになる。ここが一番後回しになっているような感じがする。例えば具体的な例で観光ホテルのすぐそばにある橋は歩道がついておらず、車は非常に飛ばす。お客様が、こんなに怖い観光地の道は初めてだとおっしゃるくらいである。市のかた、議員のかた、実際に歩いてみて、どのくらい危ないのか、経験して、目で見えていただきたい。 個々の議員が振興局、その他に要望するよりも、妙高市議会で要望するのが大事じゃないかなと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・上越振興局長に県道39号線と二俣から杉野沢までの399号線について、でこぼこがあり非常に危険だと話をした。1週間くらいでおおまかな補修はされていたようである。議会としても対応していきたい。 ・私の方で建設課の係長なり役職を持っている人と一緒に、私も一緒に見に行く。 ・私も県並びに建設課にはお話ししているが、なかなか実現にいたらない。これからまた上げていきたいと思う。 	行政側に伝える
7	R5.04.18 高原地域	インバウンドの関係で、スキーシーズンが中心で、グリーン期はあまり来られていない。妙高市には、日本100名山が、一つのまちに三つある。もう少しグリーン期におけるインバウンドの誘客に力を入れたらどうかと思う。	回答なし	行政側に伝える
8	R5.04.18 高原地域	インバウンドも、移住者サポートの次の空き家にも関係すると思うが、例えば移住者サポートの部分の中では、いくつか特別委員会を設けてもいいような気がしている。	回答なし	委員会等で対応を協議 （所管：総務委員会） ⇒総務委員会での対応協議結果を加えて行政側に伝える
9	R5.04.18 高原地域	私たちの意見を聞いて、議会として何にもINGがついていない。それ以上の進行が何もない。交換会をやったに変わらないだけの話である。	回答なし	当日の回答どおり
10	R5.04.18 高原地域	空き家対策について、例えば妙高高原地域であれば、支所の職員と、各町内会長で、困っている部分を相談しながら、できればその所有者に対して、勧告というか、取り壊しとか、そういう部分の中では、市長、町内会長、プラス火災予防的な形で消防署、また盗難等の関係で地元の警察署長。4者連名ぐらいの、しっかり職印ついて、取り壊し、危険だから、或いは火災予防面も含めて所有者に対して、対応っていうことを考えていただければと思う。そんな提案をさせていただきたいと思う。	民法の関係で、妙高市としても手が出せないのが現状のようである。 <ul style="list-style-type: none"> ・住んでいた人が、家があるのに市外へ転居すると空き家になる。その対策を窓口でやったらどうかという提案はしてある。窓口は手が回らないという現状があるようである。 ・連名ではやってないんで、それも一理あると思う。また提案していきたい。 ・特定空き家を指定するにあたり、区長並びに地元と相談しながらやっていると思う。その辺を拡大させて、やっていただくように申し合わせしたいと思う。 	行政側に伝える

No.	開催日等	いただいたご意見等	当日の回答（要約）	意見の対応協議結果
11	R5.04.18 高原地域	妙高市の空き家ホームページがある。そのホームページは日本語しかない。申請書等を書かなければならないし、その書き方とか英語で出せるんだったらありがたい。	空き家情報を英語版という形で提案していきたい。	行政側に伝える
12	R5.04.18 高原地域	今、傍聴を制限しているが、5月8日から2類から5類になるということで、もう開放してもいいのではないか。	回答なし	議場の傍聴人数制限廃止について対応済み
13	R5.04.18 高原地域	3月の産業経済委員会は3名しか出ていない。それで十分な審議ができたのか。	3月14日の3名の委員会だが、基本的には3名でも成立している。委員長を代わりながら質問をさせていただいた。3名で一生懸命、委員会を務めさせていただいたことをご理解いただきたい。	当日の回答どおり
14	R5.04.18 高原地域	7月の市議会議員選挙に当選されるかたには、城戸市長と一緒に、初めての当選の気持ちでやっていただきたい。	回答なし	当日の回答どおり
15	R5.04.18 高原地域	若い人たちの政治離れという面がある。例えば成人の集いに参加する人たちを対象にして、議会とのあるいは一般質問的なこと。中学生とやったような、若い人たちも対象に拡大したらどうか。	出前講座、こども議会を今年度初めてやった。これからもそれを参考にしながら考えていきたいと思う。	当日の回答どおり
16	R5.04.18 高原地域	双眼鏡の件だが、双眼鏡落を落とす可能性もあると言われた。傍聴席の場所で自分なりに測ったら落ちるわけない。傍聴席の一番前はどのようになっているか、お互いに勉強しようじゃないか。	議会で検討した中で、一つは凶器の問題。それから落下物の問題が検討された。全国の議会でも、そういうものの持ち込みがちょっと厳しいという前例が多々ある。それにならえばいいという考え方で、全員協議会の中で賛成をしてもらったという経過がある。	当日の回答どおり

No.	開催日等	いただいたご意見等	当日の回答（要約）	意見の対応協議結果
17	R5. 4. 19 妙高地域	少子化対策について、子どもに対する支援制度がいろいろあるが、子どもが増えても、将来定住して、税金を払ってくれるかどうかというのが問題だと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを産まない理由として、教育費等にお金がかかり過ぎるという経済的問題があり、国も舵をきった。また、子育て支援だけでなく、職場がないと子どもたちも戻ってこれない。結婚もできない。まずはしっかりと仕事を妙高に持ってくることを同時並行でしていかなければならないと考える。 ・地域全体の魅力アップが大事。農業で新産業を興し、法人化によってきちんと生活できる環境を整えれば、都会からも農業をやりたいという人も来ている。 ・雇用の場がないと子どもたちも戻ってこないのが現状だと思う。子どもたちが学んだことをいかせる職場というのを調べて、どういう業種を誘致してくるかが大事である。また、観光を基盤とした妙高市を作り上げ、関係人口、移住者といった人口を増やしていくことが大事だと思う。 ・働きに来ている人（昼間の人口）が増えるような政策を作っていないと地域の元気が出てこない。妙高市でも上越市でも一体となって物事を考えていかないと先が見えてこないような思いである。 	当日の回答どおり
18	R5. 4. 19 妙高地域	妙高市は何年か後に3万人から2万4000人ぐらいまで減ると言われているが、実情を知らないどこかの会社がいうような計算はしないでほしい。全体を見るのではなく、まずは各地区の実情を把握し、そういうのを足して、妙高高原地域、妙高地域、新井地域の状況を把握することで人口減少対策に努力しなければ駄目だと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が少ない、役員の担い手がいないのは、山間地に限らず、街なかも同じである。高齢者ばかりになっても元気な高齢者でいようという形を作っていきたい。eスポーツの取り組みが認知症防止にも効果があるとのことだった。一人一人が孤立しないように繋がりを作っていく流れが大事だと思う。 ・人口規模を維持していくためには、新しい産業を興す、或いは移住定住を促進するといった前向きな施策を積極的にしていかなければならない。また、少ない人口になっても安心、安全で暮らしていける地域社会を作っていくことだと思う。市が進めているコンパクトシティの施策で、一つの施設に複数の機能役割を持たせて効率的に行うような観点を整理しながら考えていく必要がある。 	当日の回答どおり
19	R5. 4. 19 妙高地域	各地区役員の担い手もない。	今市内では、町内を統合していこうかという動きも出ているが、なかなかうまくいかないのが現実である。近い将来本当に考えていかなければ、回っていかない感じがしている。	当日の回答どおり
20	R5. 4. 19 妙高地域	体を少し動かすのをeスポーツと認識している。視力が極端に下がるや聴力が低下するなどお年寄りにリスクが伴う感じのゲームでは困るが、ボーリングやゴルフなど少し体を動かすのであれば、高齢者に向いていると思う。指先とか目を動かすことは、時間を制限した中でやるべきかなと思っている。	回答なし	当日の回答どおり

No.	開催日等	いただいたご意見等	当日の回答（要約）	意見の対応協議結果
21	R5. 4. 19 妙高地域	市の魅力はいっぱいあるが、逆にマイナスは何かと考えると、やはり雪だと思う。観光面にはいいが、生活面では絶対にマイナスである。市ならではの施策を何か考えられないか。除雪費用の補助は当然だと思う。給食無償化にならって、除雪費を無償にしてはどうか。思い切った施策を講じないと若者が定着することは無理だと思う。雪対策を重視していただく必要があると思う。	回答なし	当日の回答どおり
22	R5. 4. 19 妙高地域	合併後、体育施設をはじめ施設整備がなされ、今後図書館も作られる計画となっているが、人口減少が進む中でそれらのランニングコスト、維持管理についてどのように行っていけばよいと考えているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に必要な施設なのかというところを踏まえて、見直しも考えていかなければいけない。 ・この地域が暮らしやすいためには、新しい公共施設はある程度必要だと思っている。市では、公共施設のどれを壊すか、どれを残すか、計画を立てて順番に取り組んでいる。ランニングコストについては、利用する側としても多少の負担をしながら、維持管理していかなくちゃいけないという感覚も市民が持たないといけないと感じている。 ・市では公共施設の更新計画を作っている。必要な施設なのか、統合して機能を維持しながら、コンパクトにしていくなど、工夫がこれからは必要であり、中長期的な財政の計画を立てながら、持続可能な妙高市を作っていくように、考えていかなければならない時代になっている。 	当日の回答どおり
23	R5. 4. 19 妙高地域	大原地区は葉たばこで有名だったが、やめられて、そのまま荒れているのが現状である。何か良い方法はないか。	園芸は、所得が上げやすいが、品質管理が厳しく、展開が進められていない。市の園芸振興として、ネギ、ピーマン、ナス、ブロッコリーの4品目に取り組みと、10㎡当たり6万8000円の補助金が交付される。また、販路としては、JAだと品質の安定や長期的な出荷がネックなことから、直売所の「とまと」や「道の駅あらい」の利用といった形で活かしていける政策を提案していきたい。	当日の回答どおり
24	R5. 4. 19 妙高地域	農業は、生産組織を作ってやることで、個人の負担がかなり軽減される。個人で大規模にやっている方もいるが、後継者の問題等がある。今後は生産組織の設立強化といった体制づくりが必要なのではないかと。	生産組織だと集落営農で借り入れができない。農業生産法人にすると計画的に資金を借り入れることができ、新しい技術、機械を取り入れることができ、さらに給与や社会保険、退職金といったものを揃えることによって、新しい若い人が入ってくる。	当日の回答どおり
25	R5. 4. 19 妙高地域	議場への双眼鏡の持ち込みを許可してもらえないか。過去に議会中にスマホを見ていた議員がいた。それに比べたら双眼鏡を持ち込んでもよいのではないかと。課長の顔と名前が一致しない。	議場の規則として、持ち込まないことにしている。全国的にも同じように取り組んでいる。やはり落下が一番怖い。また、持ち込んでそこまで細かく見る必要があるのかとを感じる。議場では課長の名前ではなく、課の名前だけで動いている。	当日の回答どおり

令和5年 議会報告会・意見交換会における意見等の対応について

No.	開催日等	いただいたご意見等	当日の回答（要約）	意見の対応協議結果
26	R5. 4. 19 妙高地域	議員の報酬が1%上がったというか金額的にいくらか。	報酬は1%上げる形をとり、金額的には2,800円である。市長や副市長、教育長、いろいろな審議会委員も同じ割合をあげており、議員だけではない。	当日の回答どおり
27	R5. 4. 19 妙高地域	タブレットが導入されたが、使っていない議員もいるが。	6月から本格的に入る形になっている。今は紙とタブレットの併用となっている。慣れが必要であり、6月から見てほしい。	当日の回答どおり
28	R5. 4. 19 妙高地域	傍聴席で見ていて、スマホを使っている議員がいたら、議長と呼んでいいか。特別に許可してもらえるか。	議場の議事整理権は議長にあり、議長の指示がない限り、傍聴席では発言できない。スマホに関しては全員協議会で見ないように指示を出していきたい。	当日の回答どおり
29	R5. 4. 19 妙高地域	働いているので、平日開催の議会は仕事を休んで行かなければならないため、普段はユーチューブ動画を拝見している。働いているものにとって情報公開というありがたい形で議会を運営していただいていると感じている。	回答なし	当日の回答どおり
30	R5. 4. 19 妙高地域	雪は大変だと率直に思う。太平洋側と日本海側で状況が全然違うが同じ税金を払っているのが、不公平を感じる。国なのか県なのかかわからないが、減税などしてもらえたら、少しは負担が減るのではないかと思った。	回答なし	当日の回答どおり
31	R5. 4. 19 妙高地域	人口減少に関して、妙高市の場合は2020年までは、生産年齢人口と言われる0歳から64歳までが減り、それより上の世代は増えていた。今後はそこも減っていく。そういったところも地域ごとに細かく見て考えることが必要だと感じた。	回答なし	当日の回答どおり

No.	開催日等	いただいたご意見等	当日の回答（要約）	意見の対応協議結果
32	R5. 4. 20 新井地域	選挙の立会人や地区の役員の次のなり手がいない。皆さんで考えていただきたい。	貴重な意見をいただいた。	当日の回答どおり
33	R5. 4. 20 新井地域	子どもたちが外で遊ぶのに、公園の遊具が少ないことや、ボールを使ってはいけない等の規制が多く、子どもが自由に外で遊ぶ環境が整っておらず、筋力低下が懸念される。	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具や子どもの体力関係の話は今までできてこなかったと反省している。いただいた意見を深めていきたい。この質問をまた議会の方で反映させて、実現させたい。 ・子供が喜ぶ遊具があってそこに子供がいれば、子供も寄ってくると思うので、こういった意見をまた反映させていきたい。 	当日の回答どおり
34	R5. 4. 20 新井地域	子どもたちが公園でのびのびと遊べるようにするため、ボールが外に飛んでいかないよう、柵やネットを市で整備してもらいたい。	子供を中心にして考えなければならないので、必ず意見として出していきたい。	当日の回答どおり
35	R5. 4. 20 新井地域	中高生の子どもが部活動をする上で、お母さんたちの送り迎えが必須であるのが現状。都会のように、子どもたちだけでも、バスに乗って部活に行けるような環境が整ったらいい。	委員会の中でも議論した部分でもある。妙高市として、ある程度の支援・援助といった部分も含めて、もう少し進めたらどうかというところまではいったが、なかなかその次に行けていない。今いただいた意見をしっかりと持って行って、提案・発言して参りたい。	当日の回答どおり
36	R5. 4. 20 新井地域	移住者を募集するのであれば、妙高市で出産できる医療体制を整備したほうがいい。	<ul style="list-style-type: none"> ・議会で質問したり、市、市長、担当課にも話をしているが、まだまだ進められていない。医師不足であることや、夜間対応が必須であることから、医師や看護師を集めたいと思い、研修医制度を活用し、医師を新潟県に呼び込もうという話は進んでいるが、結果はもう少し時間がかかるかもしれない。力を入れて、市民の皆さんとともにこの地域の医療体制の充実を図っていきたい。 ・妙高市では医師を目指す学生に月30万円の奨学金を出し、妙高市で開業してもらおうよう独自の取り組みを行っており、現在1名の利用者がいる。 	当日の回答どおりであるが、今一度行政側へも伝え、県にも働きかけを行っていきたい。
37	R5. 4. 20 新井地域	市民から市へ、この公園を廃止してくれという意見があったらどういう対応をするか。	隣近所にまで迷惑をかけるような騒ぎ方をする人がいるとなれば、その公園自体のあり方について揉めると思うが、基本的には今ある公園については子どもたちを育てるということで、自然淘汰されて残っている公園なので、これ以上減らすということはないと考えている。議員としても、ただ1個人の意見だけで子どもたちの遊び場を減らすようなことにはさせたくないということで、反対の声を上げていくつもりである。	当日の回答どおり

No.	開催日等	いただいたご意見等	当日の回答（要約）	意見の対応協議結果
38	R5. 4. 20 新井地域	新型コロナウイルスワクチンの接種により副作用が起きる危険性があることを接種券を送る際に併記して送るべき。子どものマスク・ワクチンについて、子どもたちの健康を考えて方針を具体的に考えていただきたい。	ワクチンについて、妙高市としてきちんと安心と安全性を確認した上で、追求しなければならない部分ではある。マスクについても、今の感染状況がどうなのか、そういった情報をきちんと市民の皆さまにお伝えしていくことが必要。	当日の回答どおり
39	R5. 4. 20 新井地域	ワクチンやマスクについて、国の方針だからそのまま情報を流すのではなくて、議員も勉強会を開いたり、実際に市民がワクチンを接種した後に被害がないのかどうかという相談窓口となって、市民に寄り添った対応、情報発信を求める。	要望ということで承った。	当日の回答どおり
40	R5. 4. 20 新井地域	高齢者が免許返納をした際に買い物に行くのに困ることから、高齢者専用の低価格で目的地まで連れて行ってくれるバスやハイエースの車があったらいい。	山間部ではコミュニティバス、町中ではチョイソコみようこうという町中巡回バスの取り組みが始まったが、知名度がないことが問題であると感じたので、対応をしていかなければならない。また、それらをベースに、運行範囲を広げる要望があれば地域で声を出してもらいたい。	当日の回答どおり
41	R5. 4. 20 新井地域	市民と議員との意見交換の場がもう少しあってもいいと感じた。市政報告会を地域で開き、現在の取り組みや進捗状況を共有してもらいたい。	以前はこの意見交換会を年1回3会場で行っていた。コロナ禍で年1回1会場となっていた。今年中にもう1回やるようなことも検討する。	当日の回答どおり
42	R5. 4. 20 新井地域	日頃疑問に思ったこと、聞きたいこと等、市民の声を聞いて対応してもらいたい。	議員の連絡先が議会だよりに掲載されているので、電話をしてほしい。	当日の回答どおり
43	R5. 4. 20 新井地域	ワクチンの副反応が出た際、市に内科のリストの提供を求めたが、そういったリストはなく、自分でネットで調べるしかないと言われた。もう少し親身になってほしかった。リストを作ってほしい。	リストについては、市の方でも用意はできると思う。非常に不本意な回答だったと思うので、その点については、出かけて行って確認をさせていただきたい。	当日の回答どおり

令和5年 議会報告会・意見交換会における意見等の対応について

No.	開催日等	いただいたご意見等	当日の回答（要約）	意見の対応協議結果
44	R5. 4. 20 新井地域	議員と一緒に市役所に相談に行ったら、市の職員に訝しげな顔をされた。議員が帰ったあとに、議員を連れて市役所に相談しに来ないでください。とはっきり言われた。市役所のかたも市民の声をちゃんと一旦受け入れ、そして市議会にそういう意見があったということ、市政に上げていただきたい。	市役所の対応について、市役所職員が自分はその立場になった時の対応をしていただけ、市のほうには申し入れる。	行政側に伝える
45	R5. 4. 20 新井地域	免許を返納した際に、移動販売を利用しやすいよう、市から援助があればいい。	担当課に伝えたい。	行政側に伝える
46	R5. 4. 20 新井地域	コミュニティバスの運転手のマナーが悪い。人を乗せているバスの運転ではない。	担当課に伝えたい。	行政側に伝える
47	R5. 4. 20 新井地域	議会報告会・意見交換会の会場をコの字にしてもらいたい。発言者の顔が見えるような配置を希望する。	回答なし	当日の回答どおり
48	R5. 4. 20 新井地域	当選回数、年齢、男女等関係なく、誰でも議長に立候補できる雰囲気を作っていただきたい。	回答なし	当日の回答どおり